Cantabile

感多美麗

カンタービレ

東海道五十三次之内「藤沢宿」

会員 米田 正巳

酒席で歌う歌は演歌、楽器の演奏は全く出来なく「カンタービレ」とはいえない私ですが、演奏会などで演奏を聴くのは好きです。同業の石塚一弥氏の奥様の千恵女史が主催されている「どるちえ音楽教室」の発表会、合宿などに参加し、若い人達の演奏を聴くことを楽しみにしてきました。このような縁により「湘南コンサートの会」に入会させていただきました。

その他の楽しみは、安藤広重（別名 歌川広重）の東海道五十三次の宿場の模写をすることです。湘南コンサートの会事務局に広重の「藤沢宿（副題遊行寺）」を飾っていただいています。安藤広重（1797～1858）は、江戸後期の浮世絵師で、代表作は、「東海道五十三次」、「江戸百景」、「富士三十六景」などがあります。特に「東海道五十三次」（1833 年 発刊）は、江戸後期の旅行ブームのためのガイド・ブックとして江戸庶民に人気のあった風景浮世絵の一つでした。

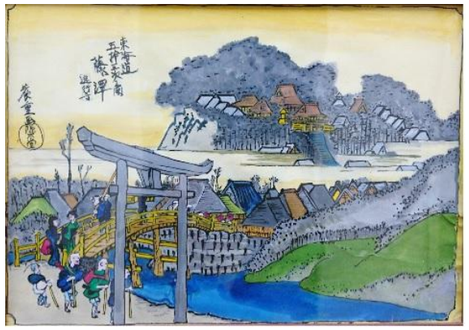
江戸時代の東海道は、江戸日本橋から京都の三条大橋までの１２６里６町１間（約 496 ㎞）をいい、その間に 53 の宿場があり、旅人達は宿場で伝馬や人足などを継立てて旅行したので東海道五十三次の名が生まれました。藤沢宿は日本橋から 6 番目の宿場で、藤沢宿より、大山（石尊社）と江の島（弁才天）へ行く道が分かれ、大山は商売繁盛の神、江の島は音楽の神で、現世の御利益を求めて多くの人々が藤沢宿を経由して両地への参詣に向かったようです。また、遊行寺の門前町として発展しておりました。

「藤沢宿」の副題の遊行寺（正式名は「藤沢山清浄光寺（とうたくさんせいじょうこうじ）」といいます。）は、一遍上人（1239～1289）を開祖とする時宗の総本山で、現在の遊行寺は、四世遊行上人の呑海上人が 1325 年に創建したものです。「藤沢宿」の浮世絵の遊行寺は、山の中腹に大きく誇張して描かれています。

絵の中央の鳥居は、江の島弁才天への入り口の鳥居で、鳥居の下に４名の盲人が描かれているのは、元禄年間（1688～1704）に盲人の最高位にあった杉山検校が、江の島弁才天に詣でた折に霊験を受けて鍼の妙術を感得したという伝説があり、これにあやかって座頭や盲人の鍼術師（しんじゅつし）の参詣者も多かったようです。現在、鳥居の左右の基礎石が、遊行寺境内の宝物館の入り口近くに置かれています。

大鋸橋（だいぎりばし）を渡っている、木太刀を押し立てている旅人は、大山石尊社に新しい木太刀を奉納し古い木太刀を持ち帰るために、大山参りに向かう一行です。東海道の随所から大山道が分かれていましたが、藤沢宿からの道が最も有名であったようです。広重の浮世絵により、江戸後期の藤沢宿の概要を説明させていただきました。

２０１８年２月１２日（月：祭日）藤沢リラホールでの『～人気のオペラシリーズ～「トゥーランドット」ハイライト』演奏会に会員皆様と参加させていただくことを楽しみにしております。



感多美麗(カンタービレ)のコーナーでは皆様からの原稿を募集しています。
音楽や旅のお話、趣味のこと感動なさった出来事などなんでも、写真やイラストを交え楽しいエッセイをお寄せください。
詳しくは、湘南コンサートの会事務局まで、お気軽にお問い合わせください。

CODA

日野原重明先生の追悼演奏会が３月７日(水)に戸塚さくらホールで行われる。湘南藤沢と音楽を通じて深い関わりを持たれたことは意義深いことである。この追悼演奏会では記念合唱団も結成され、先生の愛された音楽が会場に響き渡ることであろう。

編集委員 K.H

2018
Jan
No.68
Aria
発行 湘南コンサートの会
小笠原 康二
藤沢市藤沢５４５－１５９
０４６６－９０－５０２０

湘南コンサートの会　掲示板

日時･場所	内　容	会　費
平成３０年２月１２日（月）祝(2018) 午後２時 藤沢リラホール 今年は２月１２日（月・祝）なのでご注意ください（オペラは過去１０年間毎回２月１１日でした）	湘南名物　オペラシリーズ第１１回公演 「トゥーランドット」　ハイライト プッチーニ最後のオペラをホールオペラ形式でお楽しみ頂きます。 スケートの荒川静香さんで有名になったアリア「誰も寝てはならぬ」を我が国を代表するテノール倉石真さんが歌います。お聴き逃しなく！！！ トゥーランドット姫‥早河明子　カラフ‥倉石真　リュー‥山口由里子　ティムール‥鈴木敬治　ピン‥照屋睦　パン‥菊池慈生 ポン‥森道太郎　ピアノ‥渡辺久仁子　解説‥長崎達朗	会員・入場券省略 同封チラシ参照 一般　3500 円
平成３０年６月２日（土）(2018) 午後２時 藤沢リラホール	世界の池松宏氏をお迎えして ～アヴェマリアから超絶技巧まで～ 桐朋学園での教え子たちと紡ぎ出す夢のハーモニーと 「新しいコントラバスの魅力」をお楽しみください。 ボッテジーニ（コントラバスのパガニーニと称される）作曲の大曲二重奏協奏曲を二曲演奏します。 コントラバスとヴァイオリンの為の 「グランデュオ」 コントラバス２本の為の協奏曲 「アパッショーネ・アモローザ」 ★池松氏のために書き下ろされたパガニーニのカプリスを題材にした川島素晴氏の超絶技巧曲「バ蟹ガニ」は圧巻です。 カッチーニ　アヴェマリア、川島素晴　バ蟹ガニ モンティ　チャルダッシュ、ポンセ　エストレリータ ピアノ　加藤真矢子、ヴァイオリン　坪田亮子 コントラバス　大黒屋昌宏	会員・入場券省略 一般　3000 円 学生　2000 円
平成３０年１０月６日（土）(2018) 午後２時 藤沢リラホール	若手実力派によるフレッシュコンサートシリーズ 第１回 ～地元にゆかりある新進気鋭のソリストの演奏を、湘南エールアンサンブルがバックアップ。将来性ある若手の演奏をお聴き下さい～ 曲目は、西洋音楽の原点 バロックと古典派を特集。時代に開花した協奏曲の、躍動する響きをお届けします。	会員・入場券省略 一般　3000 円 学生　2000 円

会員の入場券を省略しています。会員より権利を譲りうけて入場される場合はその旨受付にお申出で下さい。